

# 第4回ケニア大統領再選挙に向けた ナイロビ邦人安全対策連絡会

1. 開会のご挨拶
2. 当館公使参事官の挨拶
3. 選挙情勢
4. 治安情勢
5. 安全対策
6. 質疑応答
7. 閉会

2017年9月23日  
在ケニア日本国大使館

# 選挙情勢

1. 総選挙結果一覧
2. 最高裁判決の内容
3. 今後の日程
4. 再選挙の与野党の構図

# 2017年総選挙結果一覧

	ジュビリー党	NASA	その他
大統領	8,203,290票 (54.27%)	6,762,224票 (44.74%)	0.99%
	前回: 6,173,433票 (50.07%)	前回: 5,340,546票 (43.28%)	前回: 6.65%
下院 (349議席 + 議長)	171議席 (48.99%)	125議席 (35.81%)	52議席 (14.89%)
	前回: 183議席 (52.43%)	前回: 137議席 (39.25%)	前回: 29議席 (8.30%)
上院 (67議席 + 議長)	34議席 (50.74%)	27議席 (40.29%)	6議席 (8.95%)
	前回: 33議席 (49.25%)	前回: 28議席 (41.79%)	前回: 6議席 (8.95%)
郡知事(47知事)	25知事 (53.19%)	17知事 (36.17%)	5知事 (10.63%)
	前回: 20知事 (42.55%)	前回: 21知事 (44.68%)	前回: 6知事 (12.76%)

出典: Kenya Gazette

## 最高裁の判決内容要点

- 大統領選挙結果発表の時点で、各投票所における結果報告書(「34A」)が全て集計されていなかったのにも関わらず、独立選挙委員会(IEBC)は同選挙結果の発表を行った。
- 最高裁がIEBCに投票電子システムのサーバーへのアクセスを野党側に許すように命じたにも関わらず、9月20日に至るまで同命令に応じなかったことは、ハッキングがあった、もしくはIEBC職員がサーバーに細工を行ったとする野党側の主張を受け入れざるを得ない。
- IEBCは、何故大統領選挙だけが同時に行われた他の選挙よりも投票者数が50万人多かったのか、満足のいくような説明をしていない。

# 今後の日程

- 10月26日(木) 再選挙
- 11月2日(木)までに結果発表(選挙から7日以内)
- 11月14日(火)以降 大統領就任式

# シナリオ1

最高裁に異議申し立てが成されなかった場合

- 11月14日(火)就任式  
(10月30日(月)までに結果発表が成された場合)
- 11月21日(火)就任式  
(10月31日(火)以降、11月2日(木)までに結果発表が成された場合)

# シナリオ2

## 最高裁に異議申し立てが成され、棄却された場合

- 11月9日(木)までに最高裁への異議申し立て(結果発表から7日以内)
- 11月23日(木)までに最高裁が棄却(申し立てから14日以内)
- 11月28日(火)就任式(11月20日(月)以前に棄却された場合)
- 12月5日(火)就任式(11月21日(火)以降23日(木)までに棄却された場合)

# シナリオ3

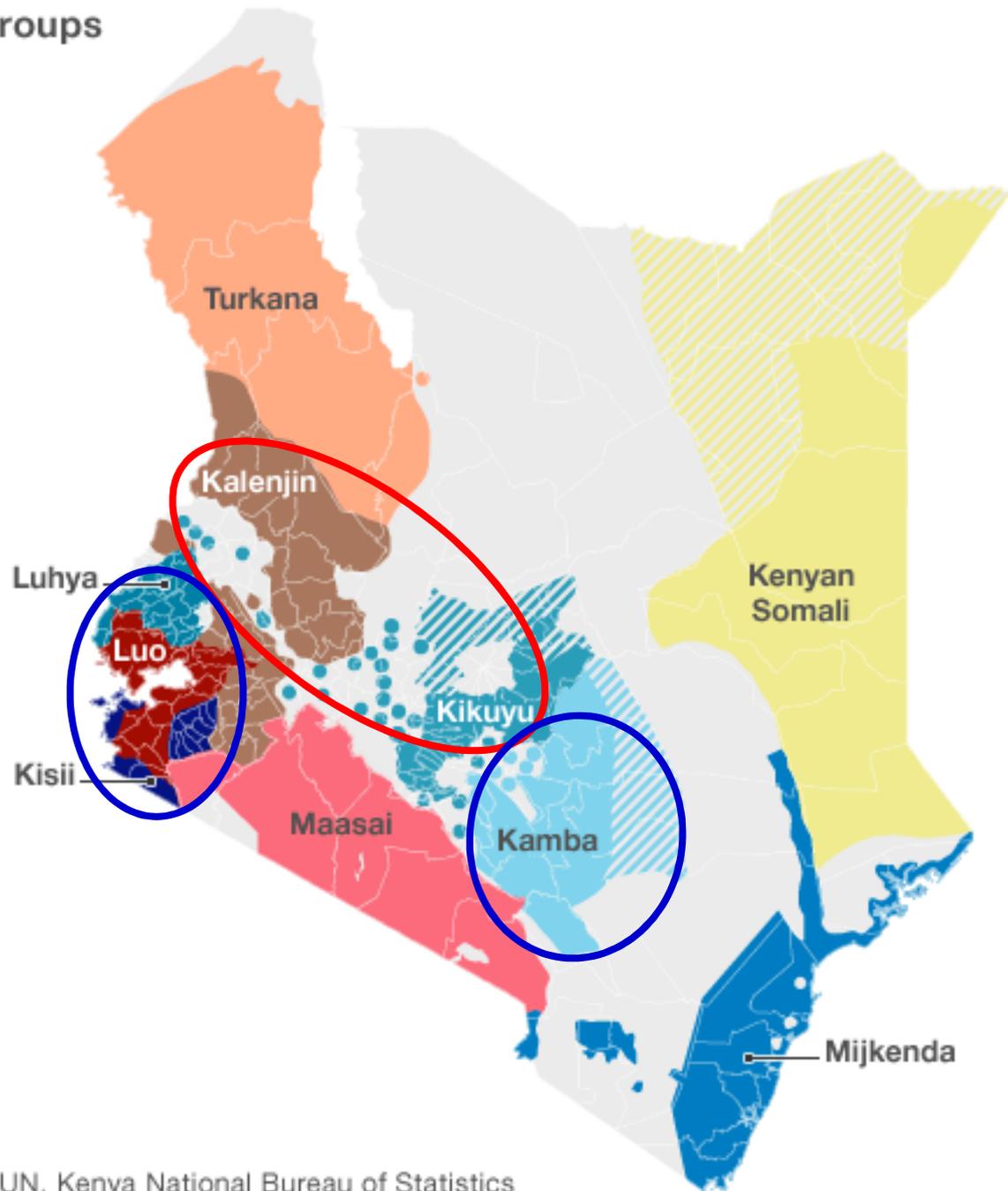
最高裁に異議申し立てが成され、申し立てが認められた場合

- 11月9日(木)までに最高裁への異議申し立て(結果発表から7日以内)
- 11月23日(木)までに最高裁が申し立てを認める(申し立てから14日以内)
- 2018年1月22日(月)までに再々選挙(判決日から60日以内)

## Distribution of ethnic groups

Ethnic groups

- Kikuyu/Meru 22%
- Luhya 14%
- Kalenjin 13%
- Luo 11%
- Kamba 10%
- Kenyan Somali 6%
- Kisii 6%
- Mijkenda 5%
- Turkana 3%
- Maasai 2%
- Others 6%



Source: Kenyan embassy to the UN, Kenya National Bureau of Statistics

# 大統領再選挙の構図

## 野党 National Super Alliance (NASA)

ライラ・オディンガ  
元首相  
(ルオ)



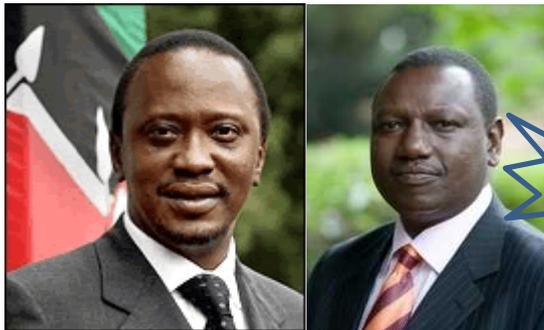
カロンゾ・ムショカ  
元副大統領  
(カンバ)



ムサリア・ムダバディ  
元副首相  
(ルイヤ)



## 与党 JUBILEE党



ケニヤッタ大統領 (キクユ)    ルト副大統領 (カレンジン)



支持表明



ピーター・ムニャ  
前メルー郡知事  
(メルー)



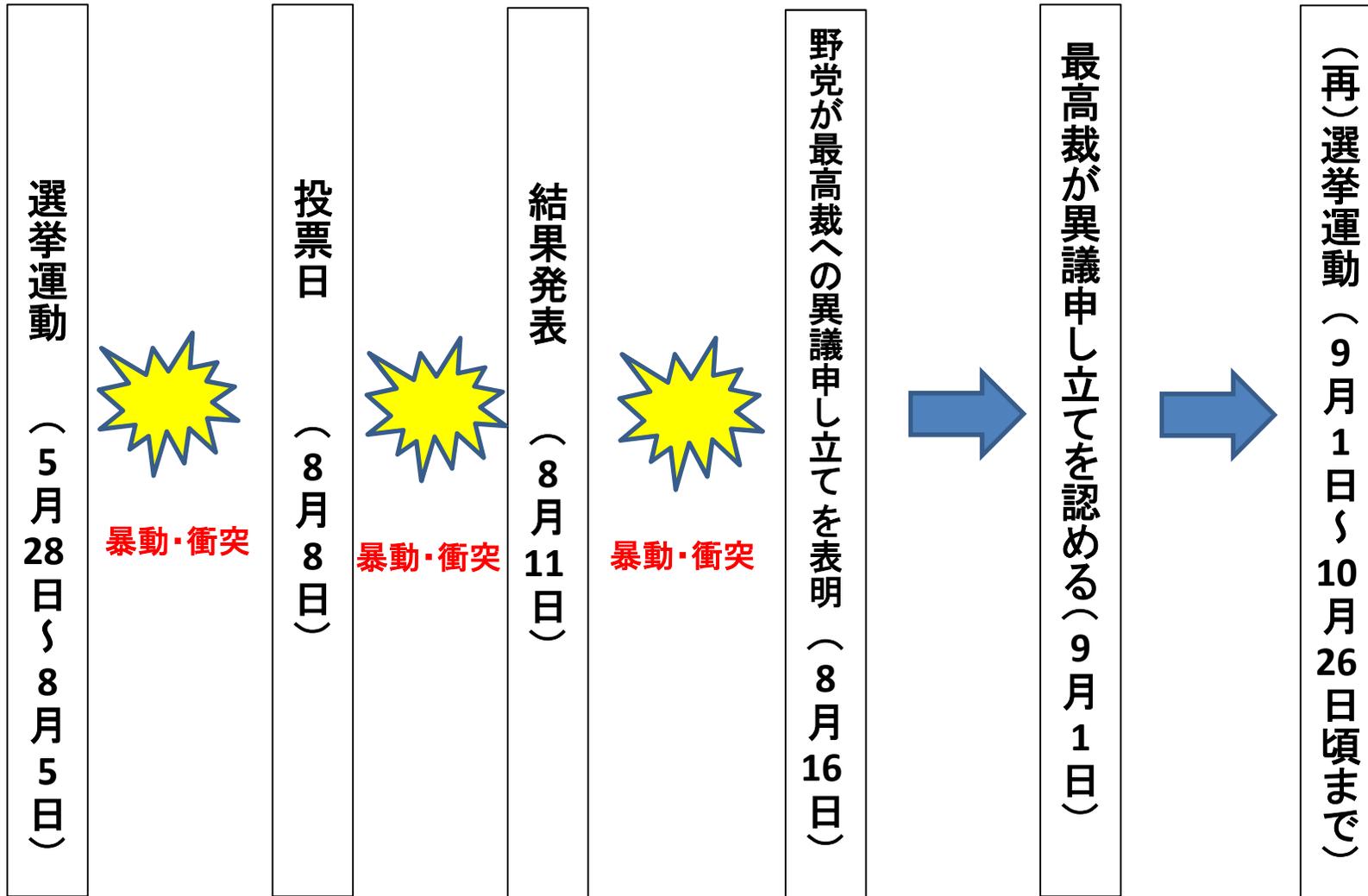
アイザック・ルト  
前ボメット郡知事  
(カレンジン)



モーゼス・ウェタングラ  
元外相  
(ルイヤ)

# 治安情勢

## 治安状況の経過



## 選挙運動期間中～投票日前日 5月28日～8月7日

7月29日

- ・ ルト副大統領邸(エルドレット北部)の襲撃
- ・ 独立選挙委員(IEBC)が行方不明  
→ その後死体で発見。

8月4日

### 邦人被害強盗事件

→ セレナホテル前を徒歩で移動中、与党の政治集会参加者5～6名に襲われた。

## 投票日～結果発表後

8月8日～8月15日

・9日夜(開票速報開始後)からナイロビ市内(マザレ、キベラ、カワングワレ)やケニア西部(キスム、カカメガ)で治安悪化。

・12日(選挙結果公式発表後)にもケニア西部のキスム、ホマベイ、シアヤで暴動が発生した。

・12日夜～13日朝にかけて、SMSが一時期、通じにくい状況になった。

※携帯電話は使用可能であった。

# 野党が最高裁への異議申し立てを表明

8月16日

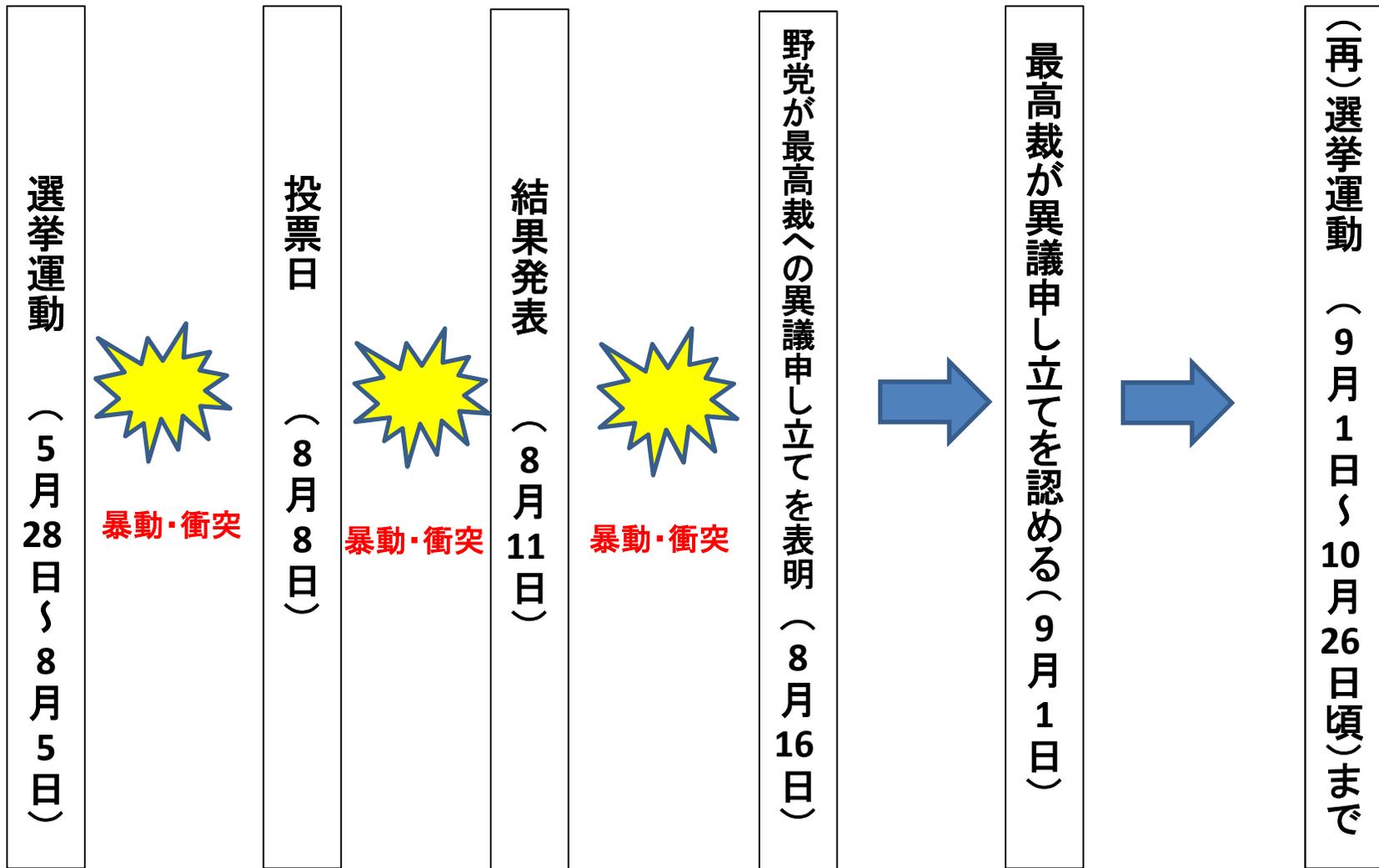
ジェームス・ギチュール・ロード



最高裁が異議申し立てを認める  
9月1日

NASAサポーターとジュビリー  
サポーターとの間で小規模な  
衝突が発生した。

## 治安状況の経過



## 再選挙に向けた注意事項

1. 与野党幹部の発言が治安状況に大きな影響を与える。

2. 選挙期間全般を通して、ナイロビとケニア西部は荒れる傾向にある。

3. デモや集会の周辺では注意が必要。

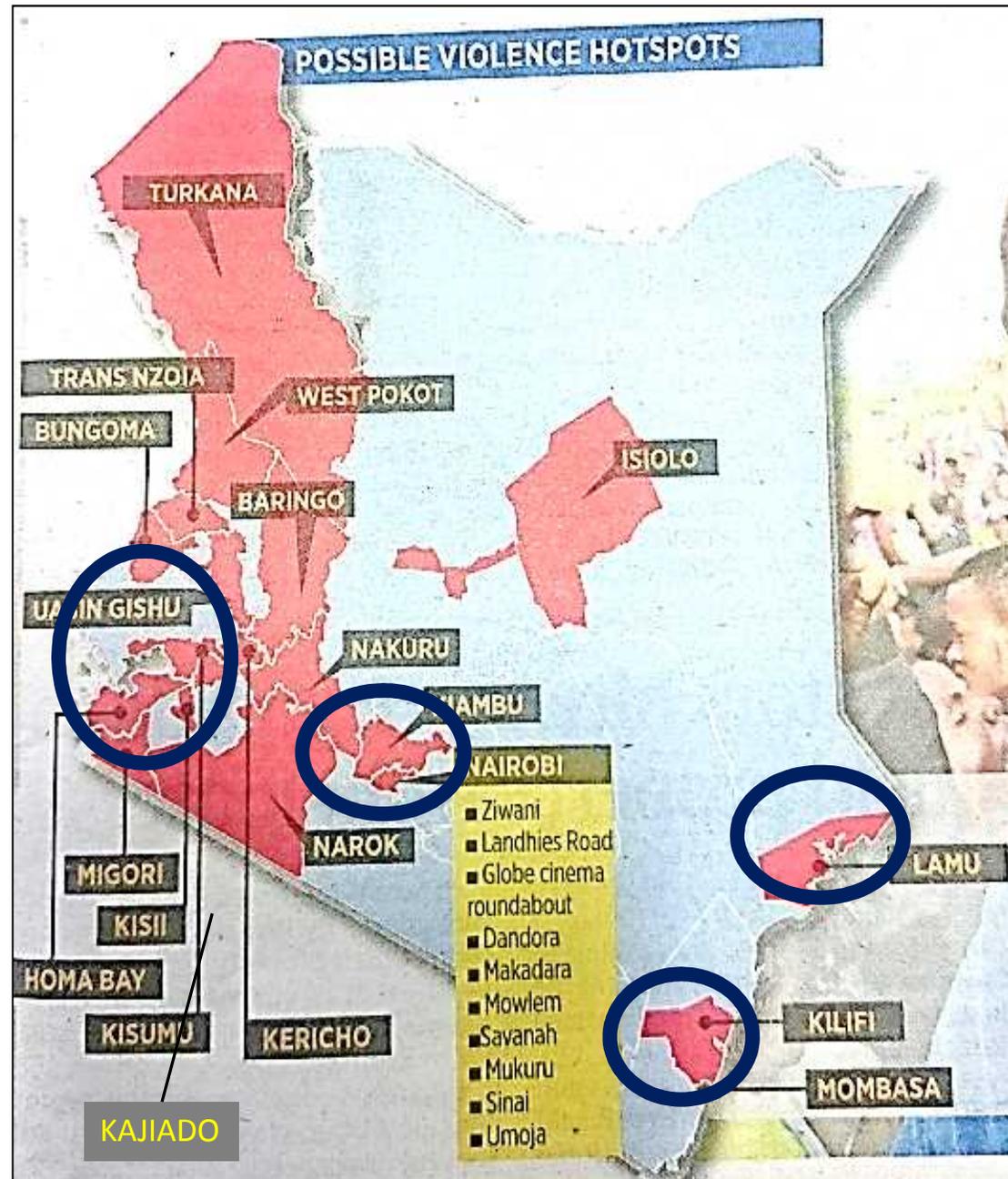
4. 投票日以降は状況によりスラム街が荒れ始めマタツの数が減り、メイド、ドライバー、警備員及び従業員が出勤できなくなる。

## 警戒を要する地域

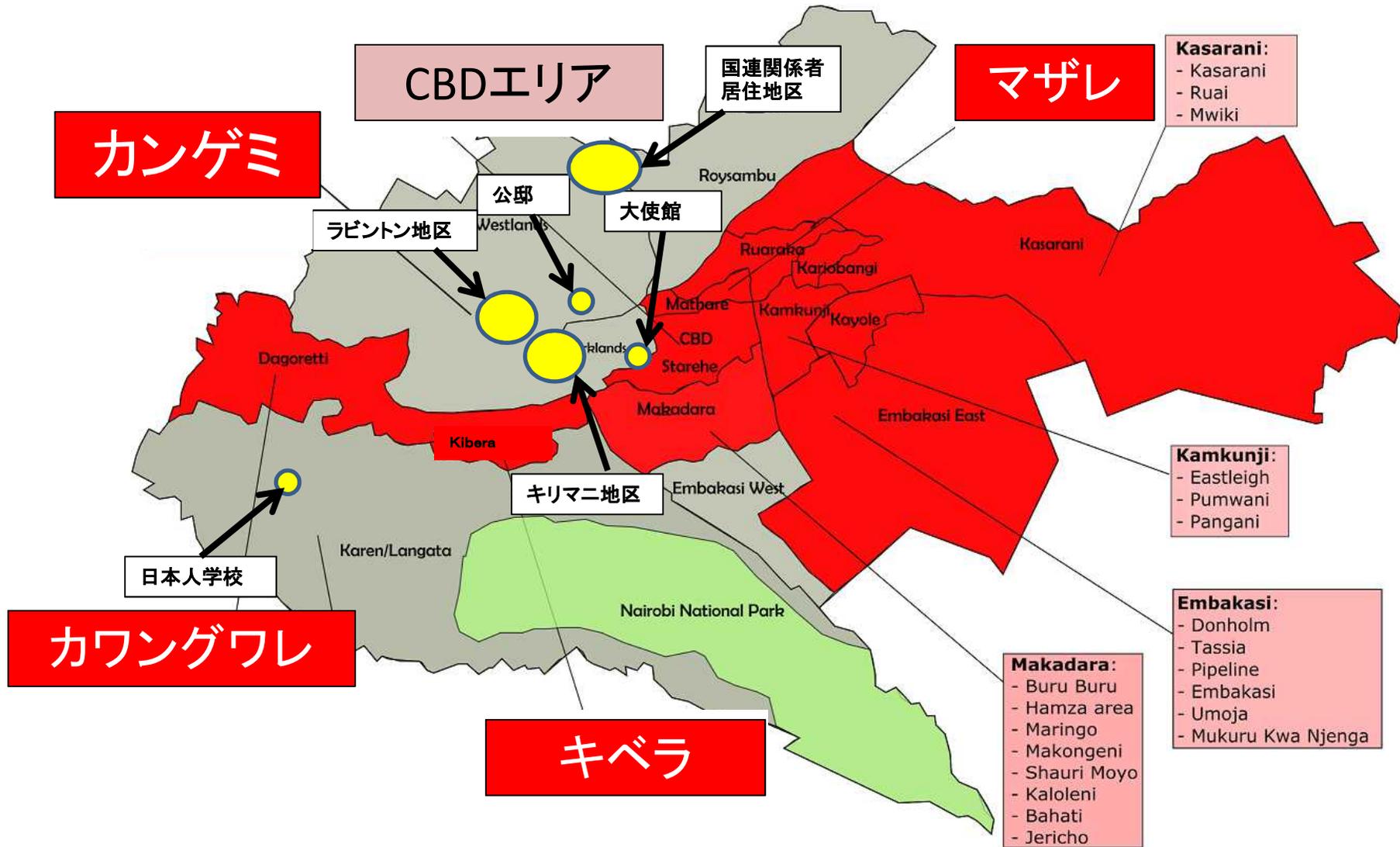
地方部へ移動される際も注意が必要です

8月11日～8月16日  
の死者数

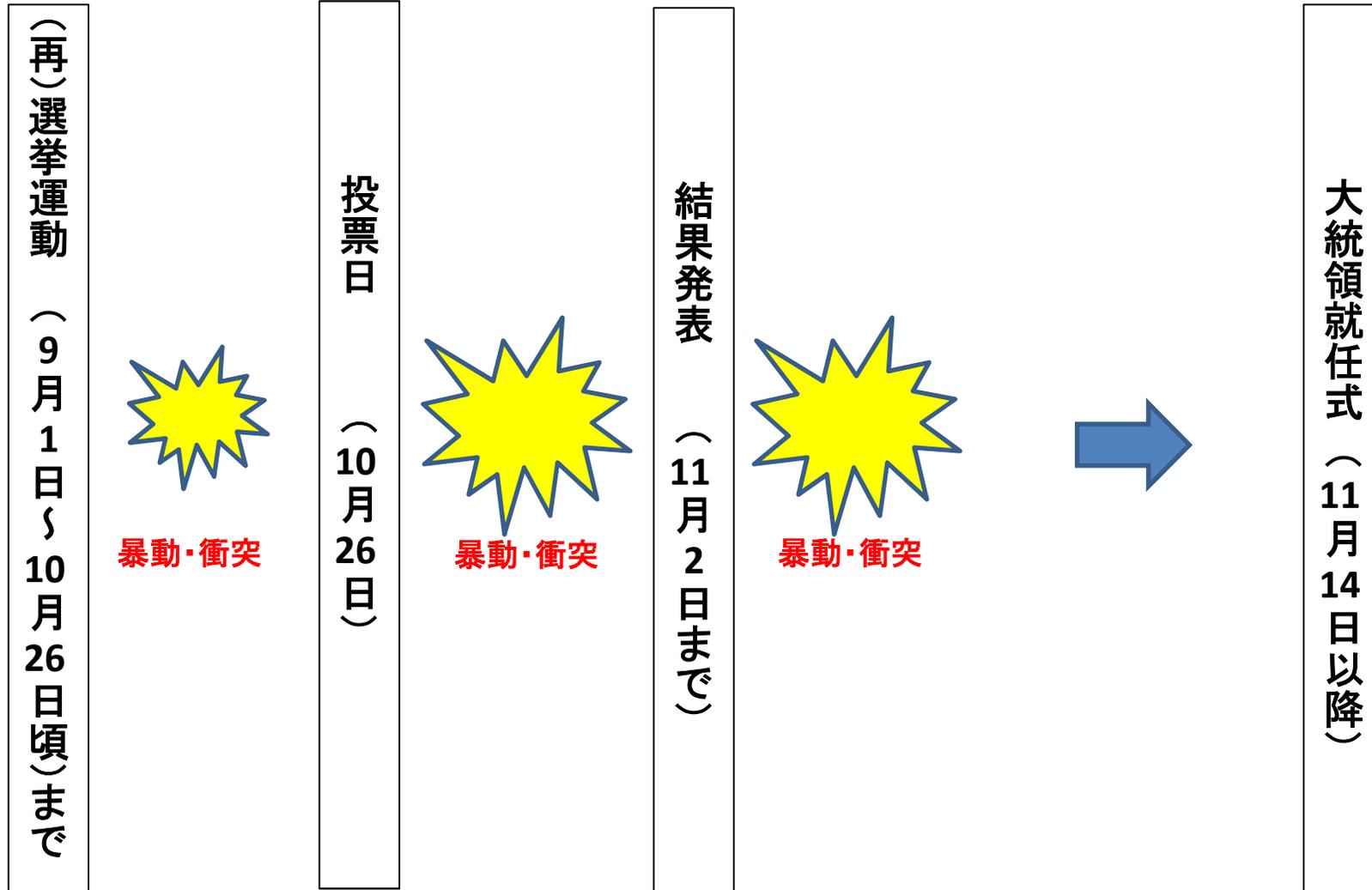
- ケニア警察報道官発表  
死者**10名(?)**
- NASA発表  
死者**100名以上(?)**
- KNCHR(NGO団体)発表  
死者**24名(?)**



# 警戒を要する地域 (ナイロビ)



# 再選挙実施に伴う治安予想



# 安全对策

- 1. 暴動発生トリガーと対策**
- 2. 安全対策**

# 暴動発生トリガー

- ◎ 投票トラブル、不正行為
- ◎ 結果発表
- ◎ メディア
- ◎ 裁判所の判決
- ◎ 候補者への攻撃
- ◎ 与野党サポーターによる衝突

# 暴動発生時に警戒すること

## ◎ 身体への攻撃

投石、鉄パイプ、パンガ、けん銃、警察官からの攻撃

## ◎ 財産被害

- 交通渋滞
- 押し込み強盗
- 路上強盗
- 食料・燃料不足

# 皆さんに起こり得るトラブル

- ◎ 行動制限
- ◎ 停電、断水
- ◎ 食料不足
- ◎ ガソリン不足
- ◎ 携帯電話、インターネットの不通
- ◎ 現金不足
- ◎ 緊急医療

# 解決方法

## 【行動制限】

→ 自宅待機、戸締まりの徹底、十分な備蓄、情報収集

## 【停電、断水】

→ 冷蔵庫で保存を有しない食料品・飲料水の備蓄、生活水の保管  
ライター・ろうそく・懐中電灯、調理用ガスの予備ボンベ、ジェネレーター

## 【食料不足】

→ 家族の人数×10日分程度の備蓄

## 【ガソリン不足】

→ ガソリン満タン、ジェリーカン、地図、車両点検・整備

## 【携帯電話、インターネットの不通】

→ フル充電、予備バッテリー、スクラッチカード、車両からの充電、FMラジオ放送からの情報入手

## 【現金不足】

→ 現金(家族全員が10日間程度生活できる米ドル・ケニアシリング)

## 【緊急医療】

→ 医薬品・衛生品の備蓄、メディカル・ホットライン、メディカルレポート、保険関係書類

## **3. 安全对策**

# 大使館からの安全対策・お願い

## 1. 情報発信

- ホームページ(スポット情報)
- 領事メール
- 緊急SMS

## 2. 安否確認

緊急SMS、領事メールで発信。迅速な回答をお願いします。

## 3. 邦人安全対策連絡協議会の開催(関係8団体代表参加)

原則2週間に1回開催。

## 大使館からの安全対策・お願い

### 4. 「安全の手引き」の再確認

備蓄、基本姿勢、行動基準

### 5. 退避

(1) 退避のタイミング : 大使館からの情報提供。

(2) 自主退避 : 商用便

(3) 大使館主導の退避(レベル4以降) : チャーター機等

(4) 集合場所 : 大使館、公邸

### 6. 現場における支援

在留邦人被害現場における支援。

### 7. 医療

## = 治安状況が悪化しても =

① Nairobi Hospital    ② Aga-Khan Hospital は

標準災害対策マニュアルに準じ医療サービスを提供すること、医療機関受診が必要な場合には躊躇無く緊急外来の受診を考慮して下さい。

しかし、医療機関へ行けない場合：

どうすれば？ 信頼できる医師は？



Dr. Dogra / Dr. Bhogal へ

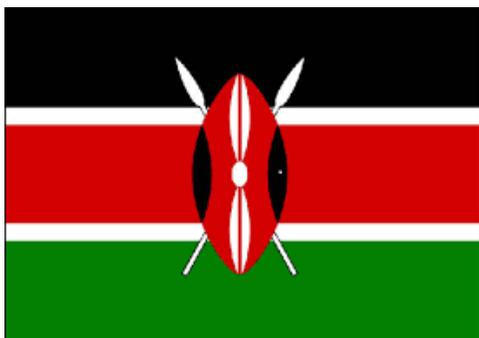
電話で、「日本人だ、ヘルプが必要だ」と伝えれば対応してくれます！

Dr. Dogra [Mobil: 0722-751851]

Dr. Bhogal [Mobil: 0721-258525]

-----  
Aga-Khan Hospital 前にあるMedi Plaza ビル [Room 203]  
(3 Parkland Avenue)                      TEL: 0708-094208

# ケニア大統領再選挙における 緊急事態発生に備えた 安全の手引き (2017年9月現在)



## 【ケニア大統領再選挙日程】

- ・ 選挙運動期間 : 10/26頃まで
- ・ 投票日 : 10/26
- ・ 公式結果発表 : 11/2まで
- ・ 新大統領就任式 : 11/14以降  
(12月に、ずれ込む可能性あり)

## 在ケニア日本国大使館

住所 Mara Road, Upper Hill, Nairobi,  
Kenya

電話 +254-(0)20-2898000

FAX +254-(0)20-2898220

ホームページ

<http://www.ke.emb-japan.go.jp/>

たびレジ

<http://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/>

## ☆ 平時に準備しておくこと

### 1 旅券・在留届

- 旅券は、6か月以上の残存有効期間があるか確認して下さい。(6か月以下の方は、在ケニア大使館に対して旅券切替発給を申請して下さい。)
- 旅券の最終頁の「所持人記入欄」は漏れなく記載して下さい。空欄に血液型も記入して下さい。
- 在留届出や外務省「たびレジ」登録を確実に行って下さい。緊急事態が発生した場合、緊急一斉通報によるメールなど、安全に関する情報を自動的に大使館から受け取ることができます。

### 2 現金、クレジットカード

- 現金、クレジットカード、その他身分証明書を旅券とともに、すぐに持ち出せるよう保管して下さい。
- 現金は、家族全員が10日間程度生活できる米ドル及びケニアシリングを準備して下さい。

### 3 携帯電話

- 十分なクレジットを確保して下さい。携帯電話のスクラッチカードを余分に確保して下さい。
- 携帯電話を肌身離さず携帯して下さい。

### 4 自動車

- 緊急時、自動車を利用することを想定して、常にガソリンを十分に入れ、地図等を常備して下さい。
- 自動車の故障がないように、平素から点検・整備を励行して下さい。

### 5 備蓄

- 水・食料品(冷蔵庫で保存を要しない食料)を家族の人数×10日間分程度備蓄して下さい。  
備蓄品 例
  - ・ 飲料水: 1人当たり1日3リットル
  - ・ 主食: 米、パスタ、麺類等
  - ・ ノードル等インスタント食品
  - ・ 缶詰等
- トイレ、洗い物用としての水を確保して下さい。  
停電になると、水が使えない場合があるので、風呂やポリ容器等に水を保管して下さい。

### 6 医薬・衛生品

- 必要な医薬品や生理用品等を準備して下さい。
- 乳幼児関連物資(ミルク、オムツ等)を準備して下さい。
- 毛布・寝袋等の寝具、衣料品、トイレット・ペーパー等が十分にあるか確認して下さい。

### 7 生活用品

- ライター、マッチ、ろうそく、懐中電灯があるか確認して下さい。
- ラジオと予備電池を準備して下さい。
- 万能ナイフ、缶切り、調理用ガスの予備ボンベ等を準備して下さい。

### 8 緊急事態時の持ち出し携行品

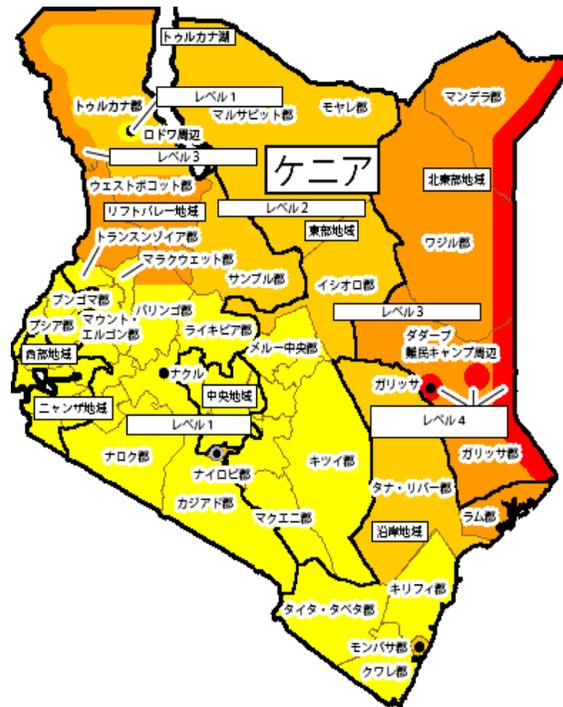
- 旅券
- 現金 ※ケニアシリングと米ドル
- クレジットカード・キャッシュカード
- その他身分証明書

## ☆ 基本姿勢

- 暴動が発生したら、自宅待機が基本。
- 自分の身は自分で守る。
- 新聞、インターネット、テレビ、ラジオ等から最新の情報を入手する。
- 大使館からの領事メール、緊急SMS、ホームページを随時チェックし、行動の指針とする。
- 有事に備えて、平時のうちから備蓄等の準備を確実に行う。
- 集会やデモが行われている場所には近付かない。
- スラムに近付かない。
- 選挙当日や、一部地域での暴動発生時は、全域で警察力が手薄になるので、強盗等の増加に警戒し、車に乗車している際もドアは確実に施錠し、自宅施錠も徹底する。
- 外出する際は、家族に行き先地を告げるとともに、徒歩での外出を極力避ける。
- スリや強盗被害を避けるため、マトツ（乗り合いバス）に乗らない。
- 選挙の混乱に乗じて、テロが発生するおそれがあることから、買い物は、混み合う時間帯を避ける。
- 不審な人物を発見した時は、速やかにその場から離れる。
- 爆発音・銃撃音を聞いたら・・・
  - ・伏せる→逃げる。
  - ・伏せる→身を隠す→逃げる
- テロ事件現場に近付かない（第2波攻撃のおそれ）。
- テロ事件発生時は、外出を避ける（同時多発テロのおそれ）。
- 大使館からの安否確認に速やかに回答する。

## ☆ 暴動に巻き込まれたら・・・

- 「自分の命以上に大事なものは無い」と肝に銘じ、絶対に暴徒や犯人に抵抗しない。
- 速やかに現場から離脱する。
- 犯罪被害やデモに巻き込まれ被害を受けた場合は、速やかに大使館に連絡する。



ケニア危険情報マップ

## ☆ 行動基準

在ケニア大使館は、邦人の皆様に対して、領事メールやホームページ等で、下記の行動基準を示します。

### 【レベル1：十分注意】

(情勢) 平和的なデモ・集会  
(対応) 各家庭・職場で、新聞、インターネット、テレビ、ラジオ等から情報収集を行い情勢の把握に努める。

### 【レベル2：不要不急の渡航中止】

(情勢) デモ・集会等での暴力衝突が増加  
(対応) 情勢の把握に努め、備蓄品を確保し、緊急時に備える。

### 【レベル3：渡航中止勧告】

(情勢) 暴力衝突が頻発し、与野党の大規模な衝突等が発生。  
(対応) 自主的な国外退避かケニア国内の安全な地域への退避を検討。残留者は、自宅待機を検討。いつでも退避できるよう準備を進める。

### 【レベル4①：退避勧告】

(情勢) 市民に危害が及び、生命・身体・財産への具体的な危険が存在。  
(対応) 外出を控え自宅待機。商用便等による国外退避、残留者は大使館との連絡体制を保持し、大使館及び大使公邸への避難を検討。

### 【レベル4②：退避勧告】

(情勢) 騒乱・内乱・クーデター等の発生及び外出禁止令が発出。  
(対応) 最終残留者は国外への退避体制に移行し、大使館の退避要領等に従い退避する。

## 行動基準

警戒区分		想定される状況（例示）	取るべき措置
レベル1	十分注意	与野党支持者間や部族間において、平和的なデモ・集会が行われ、小競り合い程度の暴力事件が発生するものの、他地域やケニア全土に波及する可能性はない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●各家庭や職場で、新聞やテレビ等の報道から情報収集を行い、情勢の把握に努める。</li> </ul>
レベル2	不要不急の渡航中止	与野党支持者間や部族間の暴力事件の発生が目立つようになり、ケニア全土に波及する兆しがある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●引き続き、情勢の把握に努める。</li> <li>●<b>10日間程度</b>、家族全員が過ごすことができる食糧、水、医薬品、燃料等の<b>備蓄を確保</b>するとともに、緊急時に備えて、旅券や現金の準備、車両の整備等を行う。</li> </ul>
レベル3	渡航中止勧告 ※在留邦人への退避勧奨	ケニア全土で、暴力衝突が頻発し、与野党支持者間や部族間の大規模な衝突等が発生する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●引き続き、情勢の把握に努める。</li> <li>●自宅待機を検討し、いつでも退避できるよう準備を進める。</li> <li>●国内の安全な地域や国外への<b>自主的な退避を検討</b>する。家族のみでも退避させることを検討する。</li> <li>●残留者は、大使館や関係者に対して所在を明確にし、連絡体制を保持する。</li> </ul>

# 行動基準

警戒区分	想定される状況（例示）	取るべき措置
<p>レベル4 ①</p>	<p>退避勧告 ※在留邦人の退避勧告</p> <p>与野党支持者間や部族間の衝突が暴動へと発展し、恒常的に市民に危害が及び、生命、身体及び財産への具体的な危険が存在する。</p>	<p>●外出を控え、自宅待機するとともに、事態の把握に努め、状況に応じて直ちに退避できる体制を整える。</p> <p>●治安が極度に悪化してきた場合は、予め指定した集結地（大使館・公邸等）へ避難し、身の安全を図るとともに、退避に移行できる体制をとる。その際、緊急事態の持ち出し携行品（旅券、現金、クレジットガード及びその他の身分証明書等）、出国に必要な物、食糧、水、医薬品、燃料等、当面の生活に必要な物も携行する。</p> <p>●退避が必要と判断された場合は、在留邦人は予め地域ごとに指定した集結地（大使館・公邸等）に集合し、車列を組み（警察の護衛のもと）、陸路で国外に退避する。商用便が運行されていれば、空路での脱出も視野に入れる。</p> <p>●最終残留者は、大使館や関係者に対して、所在を明確にし、連絡体制を保持する。</p>
<p>レベル4 ②</p>	<p>退避勧告 ※残留邦人・残留館員の退避</p> <p>騒乱、内乱、クーデター等の発生及び外出禁止令、厳戒令等が発出され、行動規制が敷かれる。死傷者が続出する事態に陥る。</p>	<p>●最終残留者は、国外への退避体制に移り、退避要領に従い、退避を開始する。</p> <p>●退避が不可能な場合を想定し、大使館・公邸等における立てこもりを視野にいれた準備を行う。</p>

## 9月23日現在の警戒区分・取るべき措置

### ◎ 警戒区分

レベル1: 十分注意

### ◎ 情勢

与野党支持者間や部族間において、平和的なデモ・集会が行われ、小競り合い程度の暴力事件が発生するものの、他地域やケニア全土に波及する可能性はない。

### ◎ 取るべき措置

各家庭や職場で、新聞やテレビ等の報道から情報収集を行い、情勢の把握に努める。

### ◎お願い

備蓄品や緊急時の持ちだし携行品を準備して下さい。